

蝶のオオゴマダラの活用を問う

答 蝶ハウスの設置計画はない



金城 好春 議員

問 黄金森に蝶々がいっぱい飛び回っていたら観光客も増えるのではないかと。そこで黄金森公園内にオオゴマダラの蝶ハウスを設置してオオゴマダラを黄金森に飛ばす考えはないか。

副町長 黄金森公園整備計画では蝶ハウスの設置計画はない。

問 オオゴマダラの食草であるホウライカガミを黄金森公園内に植栽できないか。

副町長 ホウライカガミはそれを食草するオオゴマダラ、またその幼虫が生息すると考えられる。昆虫等が苦手な公園利用者もいることから公園への植栽は厳しい。

問 希望する本町の学校にオオゴマダラの蝶ハウスを設置できないか。

教育長 現在、北丘小学校がオオゴマダラの蝶ハウスを設置している。蝶ハウスは学校長の判断により設置するものと考えている。



オオゴマダラ

問 県の事業「沖縄離島体験交流促進事業」を問う

問 どのような事業内容か。

教育長 将来を担う児童が離島の重要性、特殊性及び魅力に対する認識を深めるとともに沖縄本島と離島との交流促進により離島地域の活性化を図る。離島へ派遣し、体験交流を行う事業である。

問 実施期間はどのようになっているか。

教育長 平成28年度は5月から12月までの期間で事業が実施された。

問 町内の学校も希望すれば事業に参加できるか。また町内の学校は申し込んでいるか。

教育長 本町の五年生の児童が同事業に参加している。平成28年度は津嘉山小学校が6月8～10日まで渡嘉敷島、北丘小学校が6月8～10日まで伊良部島、翔南小学校が7月13～15日まで伊是名島での離島体験交流に参加した。今年度は、南風原小学校が7月5～7日まで伊良部島での離島体験交流に参加する予定である。